

2016年調剤報酬改定を踏まえて多剤併用への対応、健康サポート機能に取り組む

一般社団法人 日本老年薬学会 研修会（第3回）

高齢者に対する適切な薬物治療の実践を医師と薬剤師が協働

2016年9月11日（日）
14時～17時30分（開場13時）
東京大学 武田ホール（武田先端知ビル 5階）
〒113-8656 東京都文京区弥生 2-11-16

講演内容（予定）

高齢者に多くみられる疾病（身体疾患を中心に）

国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 副院長

荒井 秀典

高齢者には様々な疾病や老年症候群がみられます。その治療としては、まず非薬物療法を選択すべきですが、効果が不十分な場合薬物療法を行います。しかしながら、高齢者に対する治療目標は時に非高齢者と異なるため注意が必要です。また、薬物療法は副作用が現れやすく注意が必要です。今回は、高齢者薬物療法ガイドライン2015の内容にそって生活習慣病、老年症候群を中心に、薬物療法上の留意点について実践につながる講義を行います。



高齢者へ関わる薬剤師に求められるトータルマネジメント能力 ～体調チェック、ポリ・ファーマシー対応、在宅医療など～

医療法人つくし会 南国病院 薬剤部長

川添 哲嗣

薬剤師として高齢者医療、ケアに関わるために、多職種連携の重要性、高齢者医療における薬剤師の役割について知識と、技能、態度を修得できるように症例も提示しながら解説します。他職種、本人、家族に対するトータルマネジメントについて講義を行います。



処方見直しへのアプローチ（緩和医療を中心に）

同志社女子大学 薬学部 医療薬学科 教授

中西 弘和

WHOが定めた緩和ケアでは、がん・非がん患者すべてに対して苦痛緩和を実行することを宣言している。現に高齢者医療ではがん患者も多く苦痛緩和が必要であるが、非がん患者でもなくなる前には痛みや呼吸困難などの苦痛が半数以上に見られる。今後、薬剤師が非がん患者の日常の苦痛を薬物治療で取り除く必要があるため、苦痛緩和の処方提案について説明する。



[会員]無料 / [非会員] 3,000円

学年会費 [一般会員] 5,000円 / [学生会員] 1,000円

◎参加は、会員優先になります。

参加には申し込みが必要です。ホームページからお願いいたします。先着順になります。
午前中開催を予定していますワークショップを含めて7月1日から申込を開始いたします。

老年薬学認定薬剤師取得の為に必須講座となります
（受講証明書発行及び日本薬剤師研修センター受講シール2単位発行）

第1回日本老年薬学会学術大会は、2017年5月14日（日） 都市センターホテル（東京）で開催をします。前日の2017年5月13日（土）には、研修会を開催予定です。ぜひ、ご参加ください

◎参加申込はホームページをご確認ください
日本老年薬学会で検索してください。

<http://www.jsgp.or.jp/>